

## 第204回通常国会

皆様方には日頃よりご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も何卒よろしく願い申し上げます。

令和3年は、新型コロナウイルス感染症が急拡大し、不要不急の外出自粛が求められる中で迎えました。例年、帰省客や旅行客でごった返す駅や空港も閑散とし、参拝客で賑わう各地の神社仏閣は、分散参拝の呼びかけに応じて静かに年明けを迎えました。毎年恒例の箱根大学駅伝は、初優勝を目指す創価大学を駒澤大学が最終区で大逆転する劇的な幕切れとなりました。激走する選手を沿道から声援する様子は、年明けの風物詩ともなっていましたが、今年はその人出も大幅に減り、自宅でTVを見ながらの応援も多くなったようです。

さて、第204回通常国会は1月18日に召集されました。新型コロナウイルス感染症の急増に伴い、特別措置法に基づく緊急事態宣言が11都府県に発令されている中での開会となりました。

国会では、衆参両院の本会議において菅首相の施政方針演説が行われました。菅首相は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止について、飲食店の営業時間短縮、テレワークの7割実施、不要不急の外出・移動自粛等、これまでのコロナウイルスとの闘いの経験を踏まえた効果的な対策を行っていくことを強調しました。さらに、新型インフルエンザ特別措置法の改正法案を早期に国会提出するとしました。その上で、新型コロナウイルスワクチンについて2月下旬までには接種開始できるよう体制を整備するとともに、医療提供体制の確保を強力に進めていくことを表明しました。

また、我が国の持続的な経済成長を図り、ポストコロナ時代においても世界をリードしていくため、グリーン社会の実現とデジタル改革を成長の原動力として、大胆な投資や規制改革を断行するとしています。さらに、科学技術立国・日本を再生するため、博士課程学生の支援拡充や10円規模の大学ファンドによる自立した大学経営を促すこと等により、今後5年間の政府の研究開発予算30兆円、官民の研究開発費総額120兆円を目標として、積極的なイノベーションを促していくとしています。

社会保障については、世界に冠たる我が国の社会保障制度を次の世代にしっかりと引き継いでいくため、未来を担う子供たちからお年寄りまで、全ての人々が安心できる仕組みへの改革を進めていくとしています。

この国会に提出の新型インフルエンザ等対策特別措置法等の改正法案は、新型コロナウイルス感染症の発生状況を踏まえ、まん延防止等の重点措置を創設すること、緊急事態措置における施設の使用制限等の要請に応じない者に対する命令を可能とすること、宿泊療養・自宅療養の要請を法的に位置づけること

等の規定が盛り込まれています。本改正法案は、令和2年度第3次補正予算案及び令和3年度予算案と並行して優先的に審議を進めることとなります。新型コロナウイルス感染症の早期収束を図るとともに、法案の1日も早い成立に努めて参りたいと思います。